

震災から6年経過した 震災アーカイブの進化と深化

平成28年度 東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム

特別講演

【参加型デジタルアーカイブの可能性】



ハーバード大学歴史学教授
エドウィン・O・ライシャワー日本研究所
JDArchive プロジェクトディレクター
アンドルー・ゴードン氏

[開催日時]

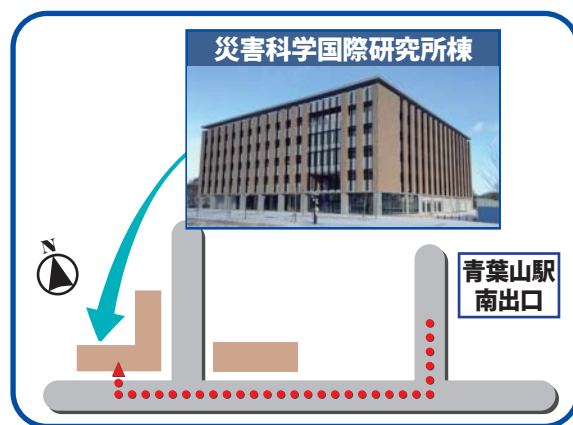
2017年 **1月20日(金)**
13:00~16:30
(開場12:30)

参加費無料・定員200名

[会場]

東北大学災害科学国際研究所棟 1階
多目的ホール (宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1)

仙台市営地下鉄東西線
青葉山駅下車 南出口 徒歩5分
※青葉山駅は仙台駅から地下鉄東西線で9分



プログラム

特別講演（講演は日本語で行います）.....

【参加型デジタルアーカイブの可能性】

ハーバード大学歴史学教授
エドウィン・O・ライシャワー日本研究所
JDArchive プロジェクトディレクター

アンドルー・ゴードン氏

報 告

【震災遺産を保全する】

福島県立博物館主任学芸員 高橋 満 氏

【福島原子力事故関連情報アーカイブ (FNAA) について】

日本原子力研究開発機構研究連携成果展開部科学技術情報課長 米澤 稔 氏

【ウェブサイトを保存する—国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 (WARP)】

国立国会図書館関西館電子図書館課課長補佐 前田 直俊

【国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)】

国立国会図書館電子情報部主任司書 伊東 敦子

【近年の震災アーカイブの問題点と解決方法について】

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

【熊本地震におけるデジタルアーカイブ構築への課題と利活用の検討】

熊本大学大学院先端科学研究部教授 山尾 敏孝 氏

パネルディスカッション

【震災から6年経過した震災アーカイブの進化と深化】

上記特別講演者及び報告者



平成27年度 東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム

申込方法

下記「みちのく震録伝」トップページ掲載のシンポジウム案内から
リンクしている「参加申込みフォーム」にてお申し込みください。
定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」(<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>)



問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野
電話：022-752-2099
メールアドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp
※シンポジウムの詳細については、「みちのく震録伝」ホームページをご覧ください。

主 催

東北大学災害科学国際研究所

国立国会図書館

